

一般質問通告事項一覧表

令和2年第4回定例会

通告順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	林 昌子	成人式について	<p>民法改正により、成年年齢が2022年4月1日から現行の20歳から18歳に変わります。2022年4月1日に18歳、19歳に達している方は、その日から新成人となります。</p> <p>成人式の時期や在り方に関しては法律による決まりはなく、各自治体が実情に応じた対応する事となっています。</p> <p>①コロナ禍における本年度の開催について</p> <p>②年齢引き下げに伴う今後の実施展望について</p>	担当部長
		防犯対策について	<p>近年、巧みな工具を使った窃盗団が増えています。</p> <p>本村においても数人での窃盗被害が出ています。</p> <p>各家庭でも安全な生活と大切な財産を守るために、防犯カメラを設置しても防犯カメラが盗まれたりと、防犯対策は取っていますが、被害はなくなりません。</p> <p>行政として、村民の安全安心を守る為の対策を伺います。</p> <p>①近年の窃盗被害件数と対応</p> <p>②行政区での防犯対策への啓発</p> <p>③防犯カメラの増設計画</p>	村 長 担当部長
2	山崎幸子	「新型コロナワクチン」について	<p>新型コロナワクチンについて以下のことを質問いたします。</p> <p>1. 新型コロナワクチン接種の開始時期が決定した場合、国からは対応方法や手順等は示されているのか。</p> <p>2. 接種開始時期が決定した場合、本村としては、早期に対応できるような準備は整えているのか。</p>	担当部長 村 長

通告順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	山崎幸子	「いばらきアマビエちゃん」について	<p>新型コロナウイルス感染者との接触通知システム「アマビエちゃん」について質問いたします。</p> <p>1. 県では「アマビエちゃん」の登録事業者に事業者登録協力金を支給しているが、本村としても独自の上乗せ給付金を支給している。本村での給付金支給開始前と後の事業者数は。</p> <p>2. 県では「アマビエちゃん」の登録利用者にもプレゼントが当たるというキャンペーンを行っているが、キャンペーンを行う前と後との県内利用者数は。本村内での利用者数も分かれば教えてください。</p>	担当部長
3	塚本光司	コロナ禍の学校教育について	<p>社会経済全体がコロナ禍で大変な状況が続く中、学校生活における児童・生徒や先生全てが心配です。</p> <p>①学校生活におけるストレス等、問題点の報告・連絡・相談は</p> <p>②小6・中3に対して特に気を付けている事はあるか</p> <p>③GIGAスクール構想におけるハード整備後の支援員（ソフト面、先生へのサポート）確保は今後万全か、又、人員増強の考えはあるか</p> <p>④二学期制となり現場・先生・子どもたちの反響はあるか</p>	教育次長
		今後の地元自主防災組織のあり方について	<p>自助・共助・公助と言われる中、地元消防団がその役割を担う意義は大きい。しかし昨今、自主防災組織としての消防団の存続が危惧されています。</p> <p>①消防団の現状は（自治体人口に対する人員確保の実態は）</p> <p>②地元からのなり手不足・辞退する若者の声について</p>	総務部長

通告順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	塚本光司		③どの様に予算が付き、各地区配分となっているか ④人員確保を今後どの様にしていくのか	
4	松村広志	シトラスリボンプロジェクトについて	新型コロナウイルス感染者や医療従事者への差別をなくすための運動として、愛媛県から始まったプロジェクト。シトラスとは同県の代名詞、柑橘類の事。「地域」「家庭」「職場(または学校)」を象徴する三つの輪でリボンを作り、思いやりを表現しながらその輪を広げる運動。コロナ禍が生み出す偏見と差別が人々の良心と良識を駆逐している。誰がいつ感染してもおかしくない日常。地域の中で笑顔の暮らしを失わない。「ただいま」「おかえり」「お疲れ様」と気楽に言いあえる、受け止める空気であってこそ、安心・安全が守られる社会といえる。いま、この取り組みが同県はもとより全国的な広がりを見せている。本村の意向を伺う。	担当部長
		SDGs・目標16(平和と公正をすべての人に)について	SDGs(持続可能な開発目標)では、「誰も置き去りにしない」平和で包摂的な社会の推進を掲げている。ターゲット16.2には、「子供に対する虐待、搾取、取引及び拷問を撲滅する」とある。長引くコロナ禍が国内でも児童虐待等を増加させている。 本村の現状とその取り組みについて伺う。	担当部長